

タイトル	本物の働く生活者としての作業学習
名称（学校・地域）	長野県長野養護学校 高等部
日時・場所等	通年
ホームページ	http://www.nagano-c.ed.jp/nagayo/



【教育活動の内容】

作業学習を高等部の学習活動の中心にして、働く意欲を培い、働きながら人と交わる、社会生活を主体的に営むといった、将来の職業生活や社会自立に必要な力を高めることを目指しています。週に3日、1回約2時間、高等部で一番大切に考えている学習です。

『自分から自分でめいっぱい』



最初から最後まで全ての作業工程を一人で進める生徒、得意な技や好きなことを活かして分業制で製作を進める生徒、それぞれの力をめいっぱい発揮して、自分から自分で主体的に作業に取り組めるようできる状況づくりをすすめています。
一人一人が主人公となって学習に取り組んでいます。

『本物の働く生活者』～社会に開かれた教育課程～

製品は、校内での販売だけでなく、ホテルやカフェ、美容院等での委託販売や商業施設内での販売会も行っています。実際に生徒の作った製品を手にとったお客さまから、お礼のお手紙をいただいたり、実際に使用しているところの写真を送っていただいたりしています。『お客さまに喜ばれる製品を作りたい』という生徒の気持ちをより一層後押ししてくれる嬉しい交流です。

また、縁あって陶芸班で製作したお皿やマグカップは、遠く海を渡って海外の方にも購入していただき、生活の中の器として活躍しています。牛乳パックをリサイクルした紙を漉いて製品を作っている紙すき班は、『和み（なごみ）』、布やビーズを使って製品を作っている手芸班は、『shine』と独自のブランドを立ち上げて、多くのお客さまにご愛用いただいています。クッキー班、農耕園芸班、木工班とそれぞれが生徒の好きなこと、得意なことを活かして活動しています。

